

そして編集部編

新宿

エンドレスタウン

そして編集部編

新宿

エンドレスタウン

新都心を歩く	10
背の高いホテルたち	12
空をめざすビルたち	16
新宿。たて歩きよこ歩き	32
新宿このごろ——現代	34
二昔まえのこと——1960年代	42
「光は新宿より」——戦後	48
戦災と新宿	54
東京行進曲——昭和前期	56
新宿さまがわり——大正期	62
関東大震災と新宿	68
新宿御一新——明治時代	70
内藤新宿の発祥——江戸時代	76
新宿のうら側——新宿崎史	82

風土と歴史をあるく

新宿

エンドレスタウン

一九八五年三月二〇日 第一刷発行

編者 そしえて編集部 編集協力・牽牛書舎

発行者 大谷高一

発行所 株式会社 そしえて

〒一〇二 東京都千代田区九段北四―一―二七

電話 〇三―二六四―一五二六

振替 東京四―二一〇九八

印刷 奥村印刷株式会社

製本 株式会社難波製本

定価 一三〇〇円

*

街の印象は人それぞれである。1日のどの時間、一生のどの時期をその街で過ごしたかで、街の印象は異なる。

しかし、10年ほどのあいだに、新宿はたいへんな変わり方である。それほどでもないよ、と思う人がいるかも知れない。しかし、新宿駅西口から見える11棟の高層ビルの誕生はこの変化のシンボルである。

どんな変化が、新宿に生まれたのか。

16万3762平方mにおよぶ「副都心開発計画」は、昭和35年に立案され、未完成の部分をいくらか残してはいるが、すでに国電と私鉄の乗降客の流れを変えるほど大きな、新しいビジネス・タウンを形成した。新宿新都心である。

考えてみれば、新宿通りを中心にした商店街、靖国通りや区役所通りを中心にした歌舞伎町などの歓楽街が、10年ちよつと前までの新宿だった。超高層ビル街・新都心の誕生は、この巨大消費都市新宿に、新しくビジネス街という異質な

性格を持たせたのである。

*

東京都新宿区新宿1丁目から4丁目。西新宿1丁目から8丁目。歌舞伎町1、2丁目。いわゆる新宿である。

新宿。途方もない街である。

この街では、日本一が珍しくない。たった10坪の店舗で1億円のテナント料を払い、売上高の9パーセントという家賃を払っても、なお成り立つサブナード商店街。

売り場面積を合わせると15万8000平方mに及ぶという大デパート群。

1日の乗降客が7線合計で300万人に及ぶという新宿ターミナル駅。

1日で10000トンを超えるゴミ。

2500軒とも3000軒ともいわれ、実数がかめかないほどの飲食店がひしめき合う歓楽街。

そして、総階数地上452階、地下42階、総床面積42万5000平方メートルにおよぶ11棟の超高層ビル街、etc.

*

1698（元禄11）年、甲州街道と青梅街道の分岐点・追分を中心に作られた宿駅、内藤新宿は、江戸四谷見付門から高井戸宿（東京都杉並区）の間に新しく設けられた宿駅だったから新宿であった。その時以来、新宿は、300年に近い寝ざの歴史を持つている。

*

今、新宿は、休むことを知らない町である。午前0時59分、国電山手線最終電車内廻り品川行が出て行ったあと、中央線中野駅始発電車が7番線ホームに入ってくる午前4時31分までの3時間32分、新宿は、束の間の眠りにつくように見える。

しかし、それは当たらない。華麗な光の乱舞が、そのなによりの証しである。

*

新宿。

飢えた獣のように、いつも新しい変化を追う街。

終わりのない街。

新都心を歩く

総床面積42万5000平方mに及ぶ日本の高層ビル群。思い思いの方向を向いて立つ1100の足音。代的ビル、毎日17万人前後の人が出入りする特設的ビルの群は、この都心の中心を占めている。

超高層ビル街・新都心。小犬を寝かせたような形で西口に広がるこの区域は、最も長いところで東西におよそ1100

mあまり、南北で700mほど、96万平方

m。通り抜けるのに10分とはか

からない（この半分

だという丸の内は何

と狭いビジネス街だ

ったのだらう）街であ

る。チェック模様の街

路を少し歩けば、高いビ

ルが別のビルのかげに消

えたり、新しいビルが不意

に現れたりする。海外旅行

から帰った人なら、思い出の

中に似た町をさがすかも知れな

い。だが、果たして見つけられ

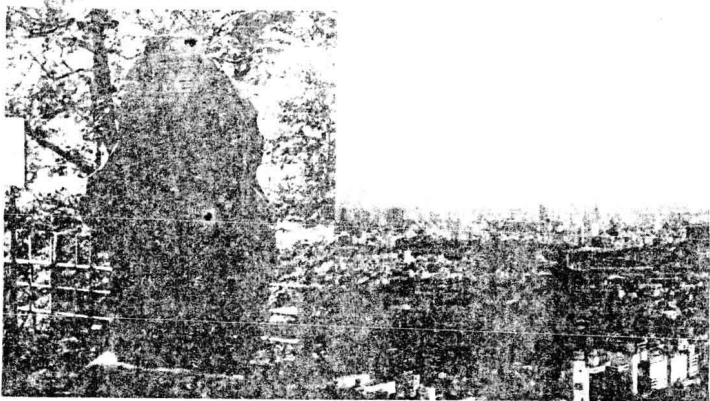
るだろうか。ニューヨーク？ 香

港？ しかし、ビルの周囲は悠然

と広く陽も当たって、それは谷間と



新宿駅西口
改札付近（新都心
の玄関である）



十二社碑（左）中央公園内熊野神社にあ
る。紀伊熊野十二社を勧請したことこ
ちなむ十二社の地名は通り名に残る。
センタービルからの展望（右）
新都心には展望のよいビルが多
い。東京湾が見える。

いうには当たらない。

新都心は、東京都の副都心建設計画の発表

以来、ことあるごとに話題にされた。最初の

ビル・京王プラザホテルが完成したとき。2番

目、住友ビルの3角柱。KDD、三井とたて続

けにできたとき。また高層ビルに避けられないビ

ル風や電波障害。それからホテル戦争……最近で

は、空地のままの都有地3区画の活用、etc。

新都心は「とりすました背の高い美人」だとい

う。それなら、歩いてみるか。街路から見るビル

たちは静かに立っているようだが、近づいて見上げる

と人を圧倒するばかりである。中に入ってみるとエレベ

ーターは行く先階別である。何となく乗ってみるとという

態度は許されないのかも知れない。とりあえず、事務所は

かりのフロアに降り立って、なるほど、徹底的な空気をたた

よわす廊下である。「ヤクルトおばさん」は、ここではどこ

か心なごませる存在である。いわゆるテナントの中に、ベルコ

ン寿司と立喰そばをさがすのは無理としても、ハンバーガーと

コーラはある。各ビルの関連企業で構成するS S K K（新宿新都

心開発協議会）は周辺6町会との協調と融和を目的に諸種の活

動をしている。定期コンサートや盆踊りも、そして野鳥のサン

クチュアリ（聖域）も、一連である。「美人」は、とりすまず



	竣工年月	高さ(m)	階数 (地下)	総床面積 (㎡)	エレベーター台数	駐車 台数	出入人口 (日)
京王プラザホテル(新館)	1971.3	170	47.3	116,237	25	266	20,000
〃(南館)	1980.9	132	35.3	58,193	12	243	3,600
新宿住友ビル	1974.3	200	52.4	177,467	39	517	30,000
KDDビル	1974.7	165	32.3	123,803	19	269	1,000
新宿三井ビル	1974.9	210	55.3	179,700	36	515	25,000
安田火災海上本社ビル	1976.3	193	43.6	124,438	27	406	3,000
新宿野村ビル	1978.6	203	50.5	119,085	29	330	15,000
新宿センタービル	1979.11	216	54.4	183,063	32	540	25,000
新宿第一生命ビル	1980.8	114	26.4	91,100	17	505	5,000
ホテルセンチュリー	1980.8	114	28.4	85,150	15		7,000
新宿NSビル	1982.9	134	30.3	166,768	30	487	20,000
サンシャイン60(日本)	1978.4	240	60.4	190,000	41	1,800	80,000
エンハイブスター(ＮＹ)	1931	381	102	—	65	—	—
ワールド・トレード(ＮＹ)	1973	410	110	836,000	119	—	—
シアースタリオン(シカゴ)	1974	448	109	408,756	102	—	—

新都心のビルと巨大ビル

(S S Kおよび野鳥建設による)

背の高いホテルたち



京王プラザホテル 新都心で最初にできた。プラザは広場の意味である。上はホテル前の10号街路。

- 新都心には3つのインターナショナルホテルが軒を並べている。順に、
- * 京王プラザホテル (IHC・インターコンチネンタル・ホテル・チェーン)
 - * ホテルセンチュリー (ハイアット・インターナショナル・チェーン)
 - * ヒルトンホテル (ヒルトン・インターナショナル)

ナショナル

ヒルトンは1984年9月にオープンしたばかり。京王プラザは京王帝都電鉄、センチュリーは小田急電鉄の資本系統である。両方とも新宿にターミナルを持つ私鉄で、デパートに直結していることは、たれでも知っている。その点、西武新宿線およびベベ (prince promnade) と連結する新宿プリンスホテルも共通した性格がある。

■ 背の高いホテルたち

京王プラザホテル

新都心の南端近くに、巨大なかまほこ板のような形をして立っている。すべての部屋に外光を入れたいとなれば、ビルが大きくなればそれだけ偏平感も増してくる。完成したときは、駅から遠すぎるといわれたこのホテルも、今では3つのインターナショナルホテルの中でいちばん駅に近くなった。

ホテルセンチュリー。



青梅街道沿いに、波のようにうねった形をして立っている。ビル風をできるだけ小さくすること、部屋数をできるだけ多くすることというねらいが生んだ形だ

ビルトンホテル。

第一生命ビルとペアになった、いわゆるツインタワー・ビルの片方。先発の住友ビルと同じだが、こちらは直角三角形で、色調も旧淀橋浄水場のレンガの面影を残そうと配慮してのものだという。ロビーの3基のシャンデリアが豪華。1基5000万円のシャンデリアのビーズは全部で11万5000個！



ホテルセンチュリーハイアット右側に第一生命ビルがある ▼

という。3

つのホテルのうちの

もつとも新

しく、19

84年9月

1日にオー

ブンした。

■ホテル・ゾーン

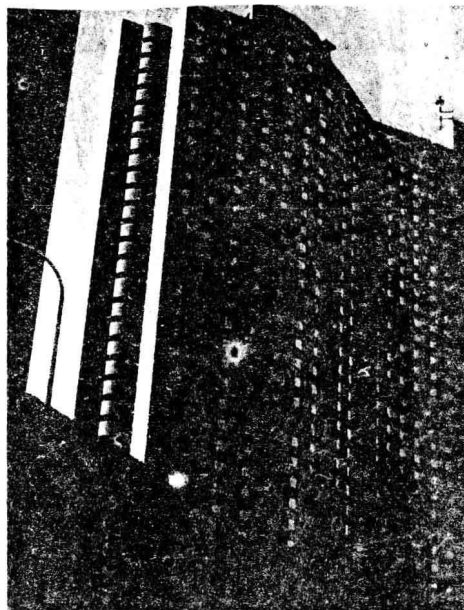
世間の耳目を集めたのは、何といっても、ビルトンを含む〈背の高い〉ホテルの新宿集中である。ホテル戦争、とマスコミは名づけた。新宿にこれだけの数のホテルができれば、需要と供給のバランスが崩れ、ホテル同士の客の争奪戦になるのは明白だ、というのがこの〈戦争〉の意味である。

ロビーの豪華なシャンデリアに3基ある

しかしホテルマンたちは、その競争を否定はしないが、従来よりも一段と需要をふやすこと



客室数	収容人員	宴会場			レストラン	
		大	中	小	バー	etc
京王プラザホテル本館	1,012	} 3,000	1	1	20	22
京王プラザホテル南館	473		1	2	5	3
新宿プリンスホテル	571	1,135	—	—	—	—
ホテルセンチュリー・ハイアット	800	1,597	1	7	15	11
ビルトンホテル	842	1,594	1	4	11	8
新宿ワシントンホテル	1,301	2,076	—	—	—	5



住友ビルから見たヒルトンホテル（上）と新宿プリンスホテル（左下）

た利点になる。さらにプリンスホテルその他の客室を加えると、この収容能力はさらに大きい。

品川、赤坂。これもホテル・ゾーンをつくっている。同じ考え方である。遠い江戸の時代に、甲州街道の新しい宿駅として生まれたことか

ら名づけられた「内藤新宿」は、今度は身近な国際化時代の新しい宿、「世界の

新宿」の顔をもつことになる、ということでもあろうか。

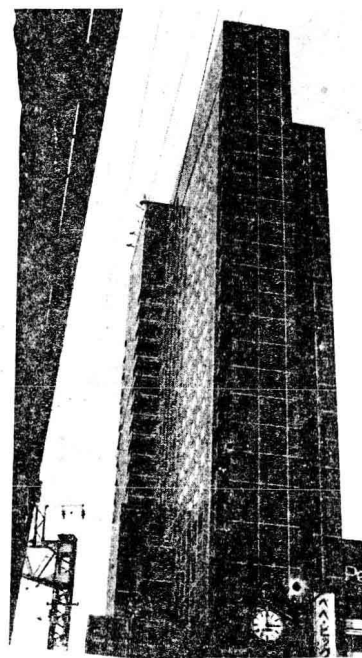
■新宿の宿

新宿には、ビジネス・ホテルも多い。国内チェーン形態による新宿のワシントンホテル
——甲州街道沿いのこ

のホテルでは料金その他の支払いにカードシステムが導入されている。大ガード近くにスターホテル、中央公園近くにニユーシティホテル、新宿駅東口にセントラルホテル……通勤圏が極端に肥大化している東京のこと、自宅までタクシーで帰るよりはいつそ泊ってしまった方が安上りな終電乗り遅れ組は、おおかたビジネスホテル利用になる。新宿では、泊るところにはこと欠かない。流行のカブセルホテルから終夜営業のサウナ風呂まで……金曜日の夜はどこもかしこも満員である。

ホテル26

旅館305



で、需要と供給のバランスをとろうと考えてきている。高次のバランス——そこにホテル・ゾーンという考え方が生まれる。新しいホテル経営論である。

たとえば、膨大な数の随員や随行者団をとまなう国際会議が日本のどこかで開かれるとしよう。別表に見るように、

●会議場に転用できる宴会場——69

●ほぼ6000人を収容できる客室数

この2要素が至近距離に集中して存在することは、個々のホテル間競争をこえ

京王プラザの10年／食物の消費

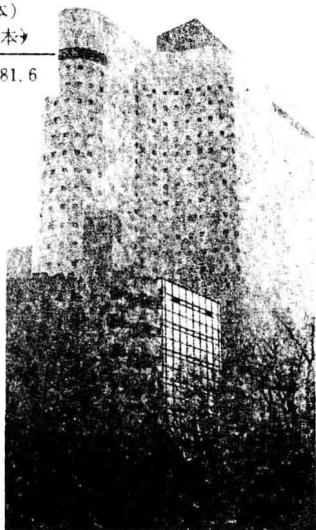
牛 肉 (トン)	1,162 (約1万頭)
豚 肉 (〃)	173 (約1万3,800頭)
鶏 肉 (〃)	798 (約53万2,000羽)
小麦粉 (〃)	1,016
米 (〃)	963 (16,050俵)
食パン (斤)	1,728,000 (トースト約14,000,000食)
コーヒー (杯)	7,661,000
ワイン (杯)	3,960,000
ウィスキー水割 (杯)	15,120,000
ビール (ℓ)	2,512,000 (中ビン5,000,000本)
日本酒 (ℓ)	179,000 (お銚子で約10,000本)

京王プラザホテル「広場の記録」1981.6

を中心にした一帯に密集している。それは歌舞伎町やゴールデン街、新宿2丁目の飲食店街と近接して、新宿の一大ポイントなのだ。ちなみに繁華街池袋をかかえる豊島区の宿泊施設件数をみれば、事は明白となる。ホテル12、旅館160、簡易宿泊所20 (昭和59年11月末) である。

超一流の大ホテルから、1泊30000円のカプセルホテル (1回20000円前後の終夜サウナまで入れればなおのこと) まで、千差万別の顔をもったこの宿泊施設群は、あのメビウスの輪のように、終わりと始まりも表と裏の区別もない巨大都市・新宿に、独特な陰影をほどこしている。

簡易宿泊施設62
新宿区内の宿泊施設認可件数は、1983年3月現在で、右の通り。合計393に及ぶこれらのかなりの部分は、新宿駅・新大久保駅・大久保駅を結ぶ3角形



新宿のビジネスホテル
(上)と西口のスターホテル (左)、東口のセントラルホテル (左端)

三角柱の造形

住友ビル

京王フラザ完成後3年目にできた新都心No.2。巨大な三角柱の形をしたこのビルは、どこかに馴染みやすさがある。内側の壮大な吹き抜けは、ときに鳥が迷いこむ。

住友ビルが3角（正確には6角）柱の形をしたビルだということは、中に入ってみればすぐわかる。

1974（昭和49）年の春に完成したとき、この風がわりなビルはちよつとした話題だった。誰もがビルは4角形をしたものだといつの間にか思いこんでいたからである。

もともとビルを4角形にするようになったのは土地と空間の効率的な利用にせまられてのことで、3角柱の住友ビルが可能になったのは土地の広さと高層性という、新都心に固有の要素によってである。

ビルができたとき、新都心にはかなり離れて京王フラザがあるだけだった。そ

れは2本の柱が天を支えているような風景に見え、「SF的」な空間にいるように感じた人居者もいる（住友ビル発行の新聞『とらいあんぐる』58）。

3角ビルの真ん中には、やはり3角形の吹き抜けがある。雨露をしのぐために4階の高さの所にとりつけられたガラス屋根から上は完全に吹き抜けている。人間が真上からのぞくとどんな感じがするのだろうか。ともかく1度などは飛びこんできた鳩がついにいられなくなってしまうことがあるという。

竹筒構造と呼ばれているこの建築は、耐震性を高めるために

地震と震度

地震年月日	気象庁発表	住友ビルでの観測
1974. 9. 27	4	3
10. 9	3	2
10. 29	2	2
10. 31	2	2
11. 30	4	3
1975. 2. 8	4	3
4. 2	2	2

『新宿新都心ニュース』1975. 6. 15

◀富永直樹作「対話」 住友ビル地内にはたくさんの彫刻作品がある。

